

資料 1:

別紙、調査項目内容の添付

入院時の検体	
血液培養	
胆汁培養	
そのほか(腹水など)	
検出微生物 (それぞれの検体につき回答し、複数回答あり)	
グラム陽性菌	
<i>Staphylococcus aureus</i>	
<i>Streptococcus spp.</i>	
<i>Enterococcus faecalis</i>	
<i>Enterococcus faecium</i>	
そのほか	
グラム陰性菌	
<i>Echerichia coli</i>	
<i>Klebsiella pneumonia</i>	
<i>Klebsiella oxytoca</i>	
<i>Proteus spp.</i>	
<i>Pseudomonas spp.</i>	
<i>Enterobacter spp.</i>	
<i>Citrobacter spp.</i>	
<i>Serratia spp.</i>	
<i>Acinetobacter spp.</i>	
<i>Stenotrophomonas maltophilia</i>	
そのほか	
嫌気性菌	
Bacteroides fragilis group	
<i>Clostridium spp.</i>	
<i>Peptostreptococcus spp.</i>	
<i>Prevotella spp.</i>	
<i>Veillonella spp.</i>	
そのほか	

使用した抗菌薬	
患者の重症度	
軽度 grade I	
中等度 grade II	
重症 grade III	
抗菌薬の併用の有無	
ある	
なし	
併用の場合の使用薬剤数	
2	
3	
それ以上	
第1世代セフェム	Cefazolin
	そのほか
第2世代セフェム	Cefoxitin
	Cefmetazole
	Cefotiam
	Flomoxef
	そのほか
第3世代セフェム	Ceftriaxone
	Cefotaxime
	Cefoperazone/sulbactam
	Ceftazidime
	Cefepime
	Cefozopran
	そのほか
モノバクタム	Aztreonam

カルバペネム	Imipenem
	Meropenem
	Doripenem
	Ertapenem
	そのほか
嫌気性菌カバ-目的の併用薬	Metronidazole
	Clindamycin
ベータラクタマーゼ阻害薬配合薬	Ampicillin/sulbactam
	Piperacillin/tazobactam
ニューキノロン	Ciprofloxacin
	Levofloxacin
	Moxifloxacin
	Pazufloxacin
	そのほか
グラム陽性菌のカバ-目的	
グリコペプチド	Vancomycin
	Teicoplanin
オキサゾリニドン	Linezolid
そのほか	
使用した抗菌薬の投与量	
抗菌薬名	
1回投与量	
投与頻度(～時間ごと)	
投与日数	

資料 2:使用した質問票

急性胆道炎の診療ガイドライン：Tokyo Guidelines

普及に関するアンケート

平成 21 年度 厚生労働省科学研究補助金 地域医療基盤開発推進研究事業
国内版・国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と
日本と世界の実地診療・健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究

A. 職種・勤務状況

1). 職種

1. 勤務医 2. 開業医 3. 研修医 4. 学生
5. そのほかの医療従事者 ()

2). 医師の方は、卒後何年目ですか。()年目

3). 勤務医の方へ 勤務先病院は、

1. 卒後臨床研修指定病院 2. 卒後臨床研修指定病院ではない

4). 勤務医の方へ 勤務先の規模

1. 50 床未満 2. 50-200 床未満 3. 200-500 床未満
4. 500-1000 床未満 5. 1000 床以上

5). 医師の方へ 専門科を 1 つお選びください。

1. 内科系 () 科 2. 外科系 () 科
3. 産婦人科 4. 小児科 5. 救急・集中治療
6. その他 ()

6). 所属先の所在地はどちらですか。1 つお選びください。

1. 東京都内 2. 関東周辺 3. 北海道 4. 東北 5. 東海・中部地方
6. 北陸 7. 近畿・関西地区 8. 中国・四国 9. 九州 10. 沖縄
11. そのほか ()

B. 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines について

下記の質問で、お答えに○をつけてください。

1). 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines を聞いたことがある
はい いいえ

2). 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines の内容を見たことがある
はい いいえ

3). 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines を診療で使ったことがある

はい

いいえ

以下の質問には、0-9の数値に○をつけてお答えください。

0を質問にまったく同意しない、9を質問に大いに同意するとしてください。

4). 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines は、あるなら、利用したい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

5). 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines は、自分の診療（医師以外の方は勤務内容）に影響を与えると思う。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

6). 国際版：急性胆道炎診療ガイドライン Tokyo Guidelines に関しまして、今後の改定の際に参考とさせていただくため、ご感想・ご意見・ご希望などがございましたら、記載してください。（ ）

C. 急性胆道炎（胆のう炎、胆管炎）の際に使用する抗菌薬につきまして

市中の急性胆道炎で、入院時の初期治療で、普段、ご使用になっている抗菌薬はなにですか。

頻度が高い抗菌薬を2つ（or 2組）選んで、記号（ア～ヌ）でご回答ください。

2剤以上併用される場合は、例：エとナ のようにまとめて1つの（ ）に記入ください。

① 重症度が、軽度から中等度の場合 （ ）（ ）

② 重症度が、重症の場合 （ ）（ ）

セフェム系

ア セファゾリン（セファメジン®） イ セフォチアム（パンスポリン®）

ウ セフメタゾール（セフメタゾン®） エ フロモキシセフ（フルマリン®）

オ セフトリアキソン（ロセフィン®） カ セフトアジジム（モダシン®）

キ セフォペラゾン・スルバクタム（スルペラゾン®） ク セフェピム（マキシピーム®）

ベータラクタマーゼ阻害薬配合薬

ケ アンピシリン・スルバクタム（ユナシン®）

コ ピペラシリン・タゾバクタム（ゾシン®）

カルバペネム系

サ イミペネム（チエナム®） シ メロペネム（メロペン®）

ス ドリペネム（フィニバックス®） セ そのほかのカルバペネム

ニューキノロン系

ソ シプロフロキサシン タ レボフロキサシン（クラビット®, 経口）

チ パズフロキサシン（パズクロス®） ツ そのほかのニューキノロン

グリコペプチド

テ バンコマイシン ト テイコプラニン

そのほか

ナ クリンダマイシン ニ メトロニダゾール（フラジール®） ヌ ア～ニ以外の抗菌薬

このアンケートは、厚生労働省科学研究補助金による研究の一貫で施行するものでございます。研究の成果は、研究報告書および学術論文等に発表し、かつ、今後 Tokyo Guidelines の改定の際の参考にさせていただく予定です。

資料 3: 質問票の集計結果

A. 職種と勤務内容	集計		
1) . 職種	結果	合計	合計
1. 勤務医	48		
2. 開業医	2		
3. 研修医	12	62	
4. 学生	6		
5. そのほか	0		
6. 無回答	1	69	
2) . 医師の方は、卒後何年目ですか。			
卒後年数 実数字			
1～5年目	21		
6～10年目	23		
11～15年目	4		
16～20年目	8		
21年以上	5		
無回答	2		
学生	6	69	
3) . 勤務医の方へ 勤務先病院は、			
1. 卒後臨床研修指定病院	47		
2. 卒後臨床研修指定病院ではない	9		
3. 無回答	5		
4. 学生・開業医	8	69	
4) . 勤務医の方へ 勤務先の規模			
1. 50床未満	2		
2. 50-200床未満	4		
3. 200-500床未満	18		
4. 500-1000床未満	25		
5. 1000床以上	7		
6. 無回答	5		
7. 学生・開業医	8	69	

5) . 医師の方へ専門科は1つお選びください。	集計	合計	合計
1. 内科系	51		
感染症科	10		
呼吸器科	9		
リウマチ科	2		
血液腫瘍科	2		
消化器科	1		
一般内科/総合診療	11		
神経内科	0		
心療内科/精神科	0		
腎臓内科	1		
緩和ケア科	0		
内分泌・糖尿病科	0		
循環器科	1		
内科の専門科の無回答	14	51	
2. 外科系	1		
外科	0		
心臓血管外科	1		
3. 産婦人科	0		
4. 小児科	4		
5. 救急・集中治療	1		
7. ローテーション研修医	3		
8. その他	0		
学生	6		
無回答	3	18	69

6) . 所在地	集計	合計	合計
1. 東京都内	19		
2. 関東周辺	31		
3. 北海道	0		
4. 東北	1		
5. 東海・中部地方	5		
6. 北陸	2		
7. 近畿・関西地区	3		
8. 中国・四国	3		
9. 九州	0		
10. 沖縄	1		
11. そのほか	0		
12. 無回答	4	69	
B. 国際版ガイドラインについて			
1) . ガイドラインを聞いたことがある			
はい	37		
いいえ	30		
無回答	2	69	
B. 国際版ガイドラインについて			
2) . ガイドラインをみたことがある			
はい	24		
いいえ	43		
無回答	2	69	
B. 国際版ガイドラインについて			
3) . ガイドラインを使ったことがある			
はい	14		
いいえ	53		
無回答	2	69	

B. 4) ガイドラインを利用したいか	集計	合計	合計
0	1		
1	1		
2	0		
3	0		
4	1		
5	9		
6	5		
7	12		
8	9		
9	20		
無回答	11	69	
B. 5) ガイドラインが診療に影響を与える			
0	0		
1	1		
2	0		
3	0		
4	2		
5	7		
6	6		
7	13		
8	9		
9	20		
無回答	11	69	

C. 急性胆道炎の抗菌薬使用 軽症から中等度 1薬目	集計	合計	合計
ア セファゾリン	2		
イ セフォチアム	1		
ウ セフメタゾール	15		
オ セフトリアキソン	2		
キ セフォペラゾン・スルバクタム	10		
ク セフェピム	0		
ケ アンピシリン・スルバクタム	21		
コ ピペラシリン・タゾバクタム	1		
サ イミペネム	0		
シ メロペネム	0		
無回答	17	69	
併用 有	2		
併用 無し	50	69	
併用薬 ニ メトロニダゾール	2	2	
C. 急性胆道炎の抗菌薬使用 軽症から中等度 2薬目			
ア セファゾリン	0		
イ セフォチアム	0		
ウ セフメタゾール	7		
エ フロモキシセフ	1		
オ セフトリアキソン	4		
キ セフォペラゾン・スルバクタム	6		
ク セフェピム	1		
ケ アンピシリン・スルバクタム	14		
コ ピペラシリン・タゾバクタム	5		
サ イミペネム	1		
シ メロペネム	2		
ヌ そのほか ピペラシリン	1		
無回答	27	69	
併用 有	1		
併用 無し	41	69	
併用薬 ナ クリンダマイシン	1	1	

C. 急性胆道炎の抗菌薬使用 重症 1 薬目	集計	合計	合計
ア セファゾリン	0		
イ セフォチアム	0		
ウ セフメタゾール	2		
オ セフトリアキソン	0		
キ セフォペラゾン・スルバクタム	6		
ク セフェピム	1		
ケ アンピシリン・スルバクタム	6		
コ ピペラシリン・タゾバクタム	21		
サ イミペネム	5		
シ メロペネム	9		
ソ シプロフロキサシン	1		
ヌ そのほか ピペラシリン	0		
無回答	18	69	
併用 有	2		
併用 無し	49	69	
併用薬 ニ メトロニダゾール	1		
併用薬 テ バンコマイシン	1	2	

C. 急性胆道炎の抗菌薬使用 重症 2 薬目	集計	合計	合計
ア セファゾリン	0		
イ セフォチアム	0		
ウ セフメタゾール	2		
オ セフトリアキソン	1		
カ セフトジジム	1		
キ セフォペラゾン・スルバクタム	2		
ク セフェピム	3		
ケ アンピシリン・スルバクタム	0		
コ ピペラシリン・タゾバクタム	10		
サ イミペネム	3		
シ メロペネム	16		
ス ドリペネム	1		
無回答	30	69	
併用 有	6		
併用 無し	33	69	
併用薬 テ バンコマイシン	2		
併用薬 ナ クリンダマイシン	3		
併用薬 ニ メトロニダゾール	1	6	

図 1: 職種の割合

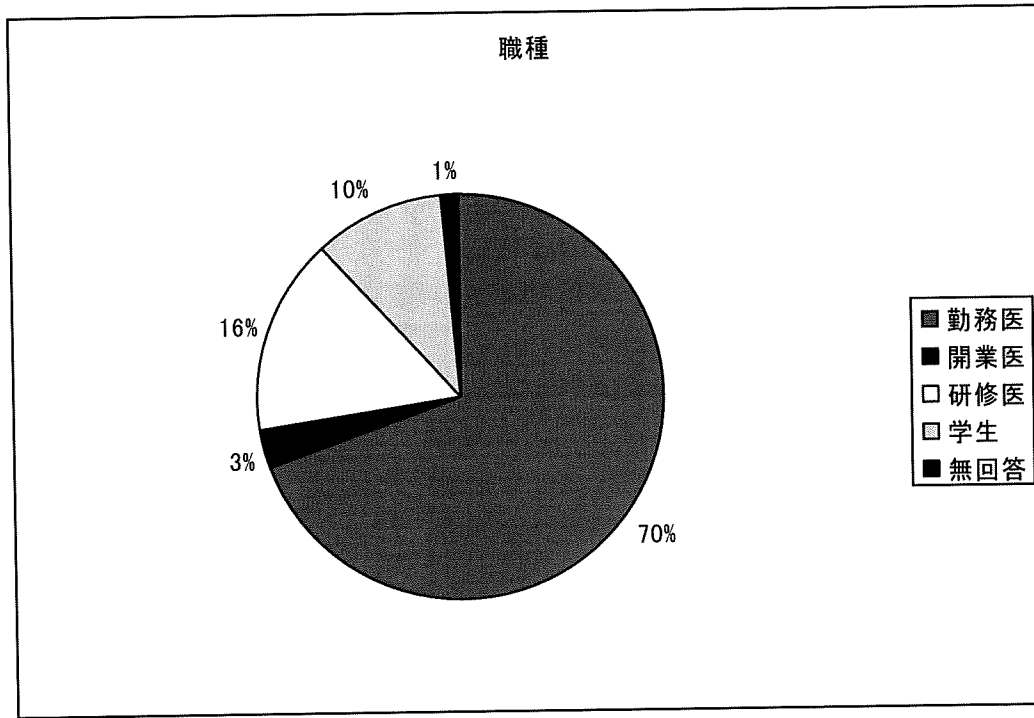


図 2: 卒後年数の区分

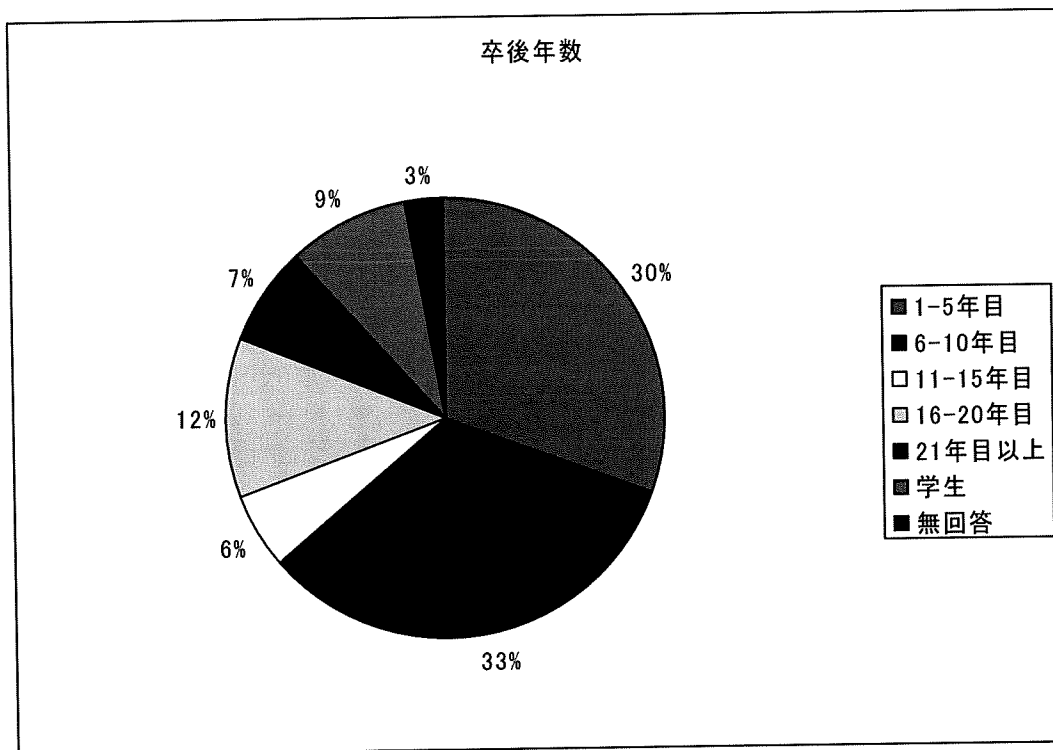


図 3 : 研修指定病院の有無

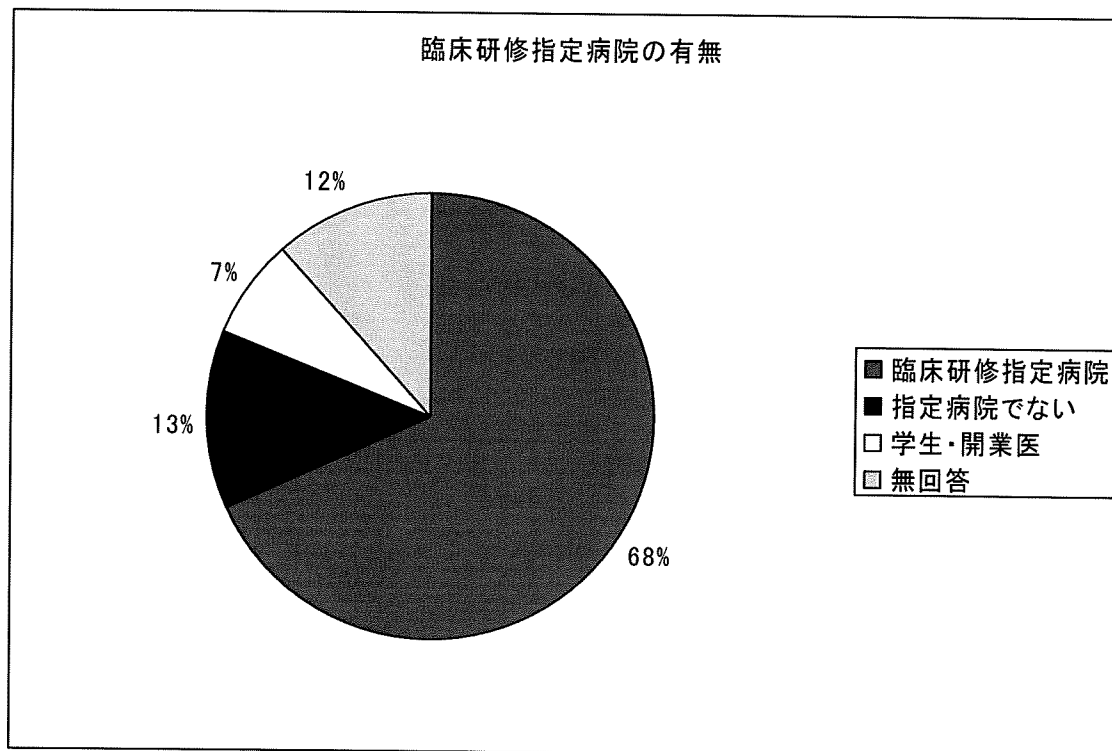


図 4 : 勤務先の病床数

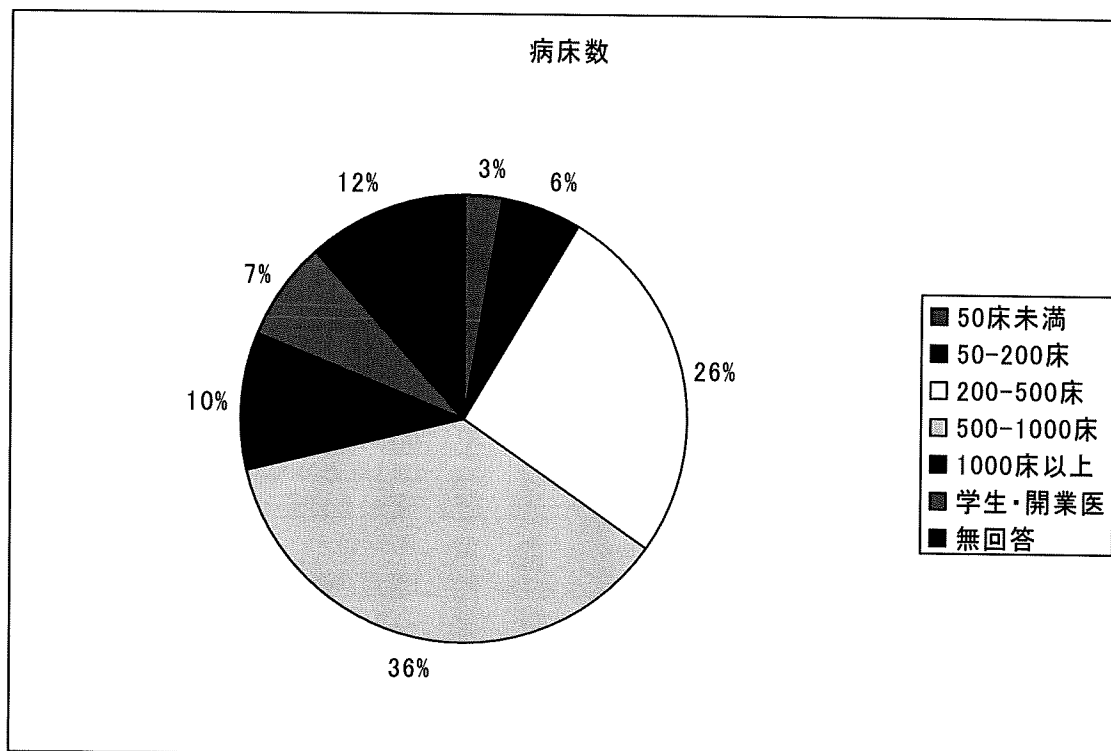


図 5: 専門科

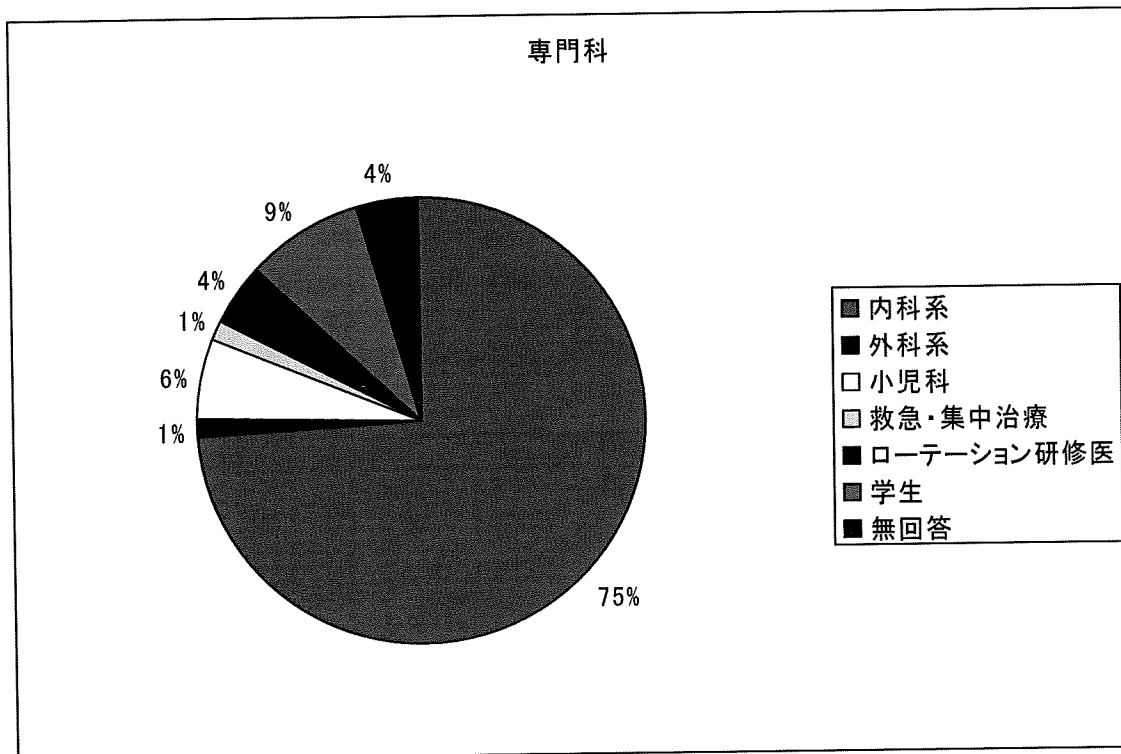


図 6: 内科系の専門科

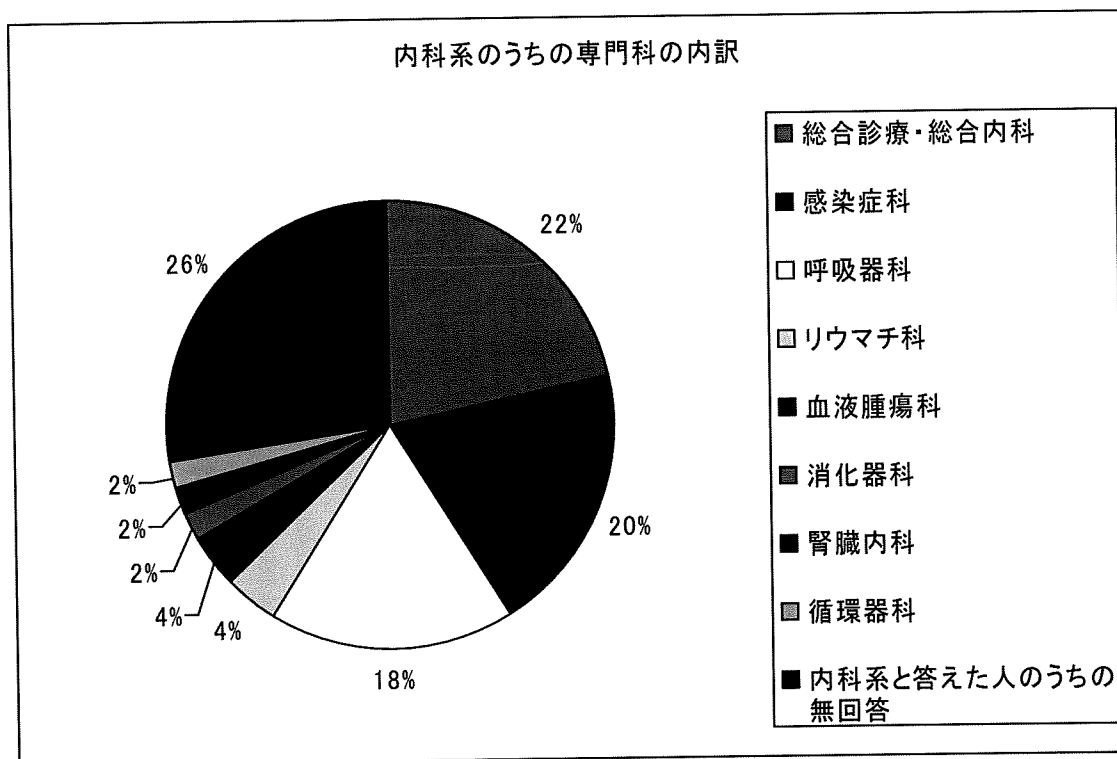


図 7: 勤務先の所在地

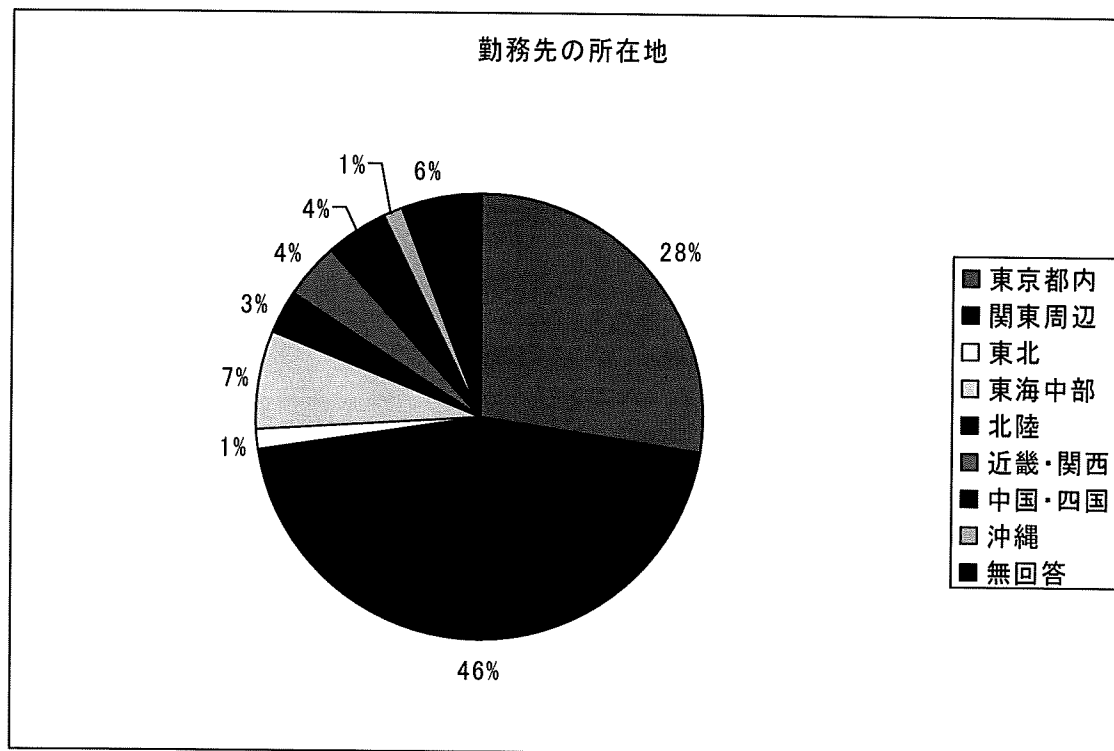


図 8: ガイドラインを聞いたことがあるか

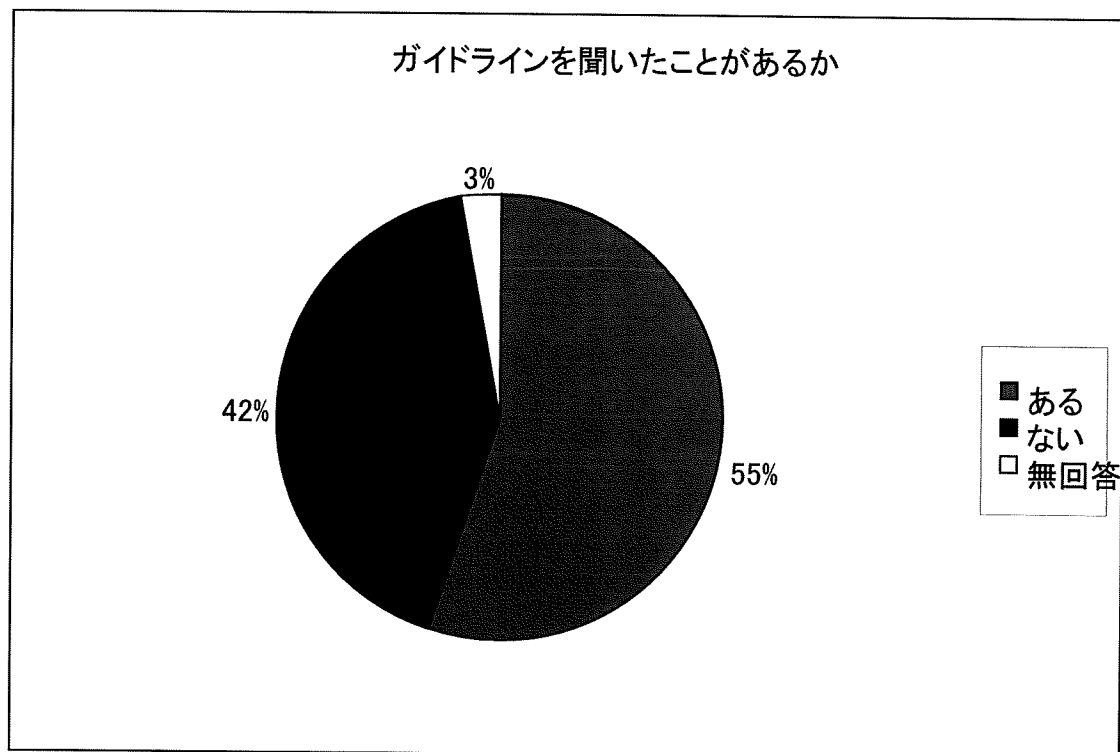


図 9: ガイドラインを見たことがあるか

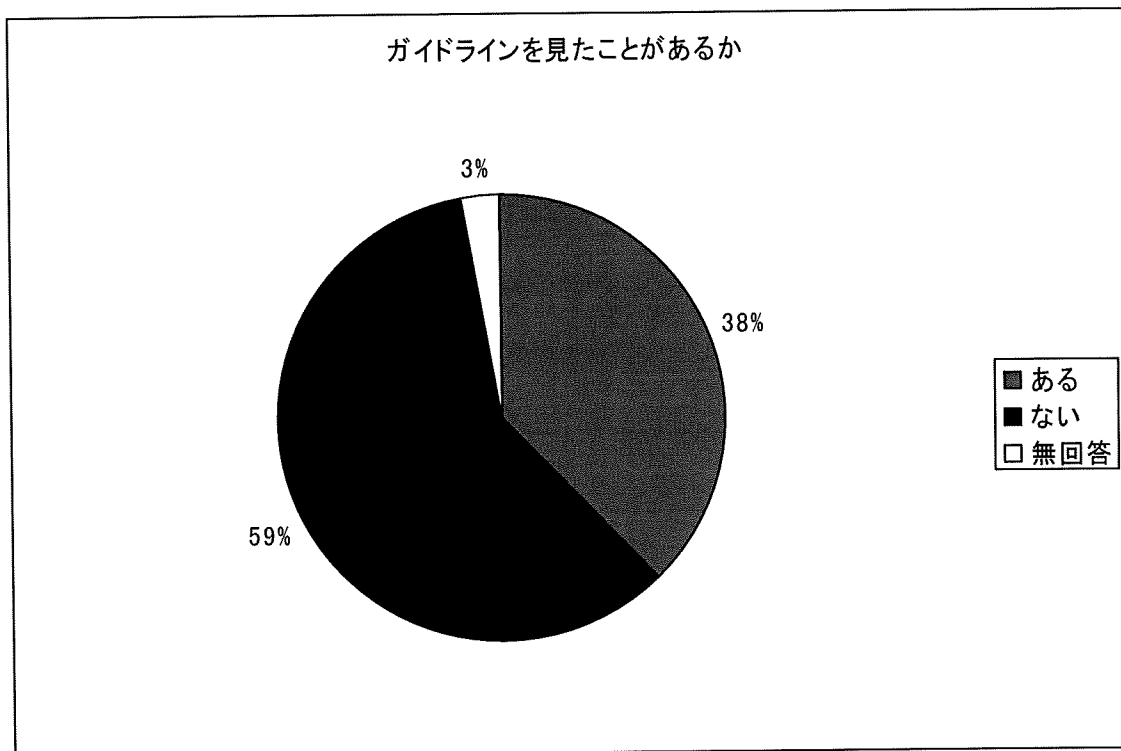


図 10: ガイドラインを使用したことがあるか

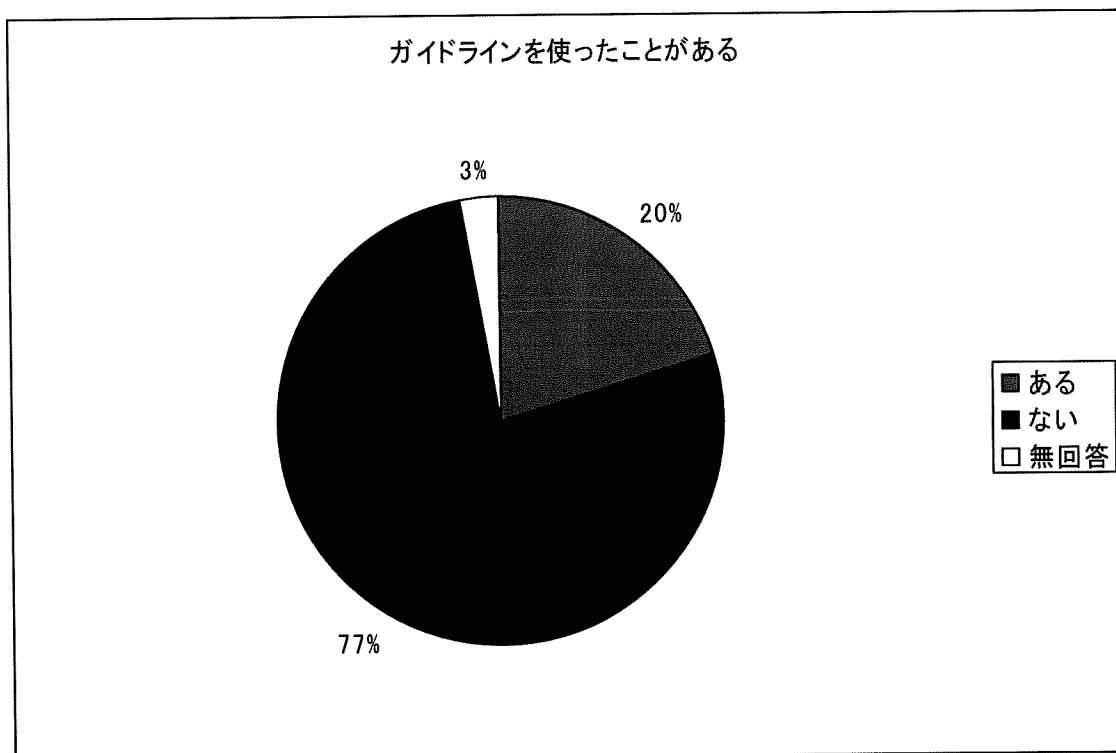


図 11: ガイドラインを利用したい (0: 全く同意しない 9: 大いに同意する)

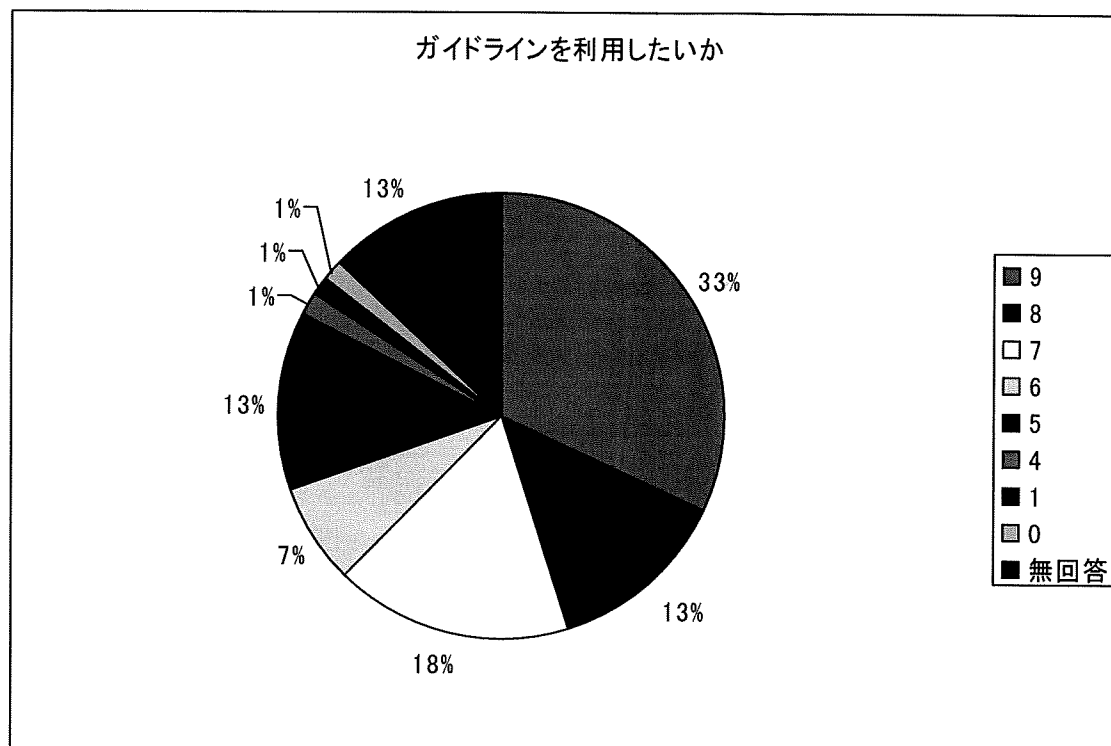


図 12: ガイドラインが診療に影響を与えるか (0: 全く同意しない 9: 大いに同意する)

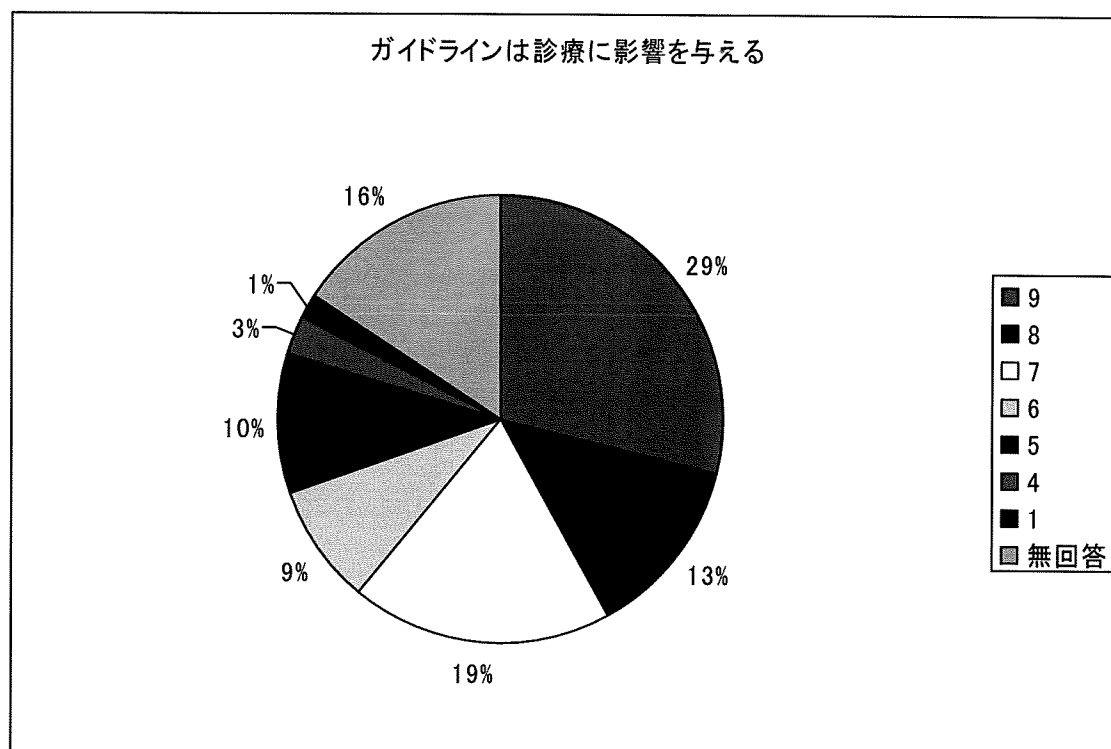


図 13: 軽症から中等症の胆管炎に使用する抗菌薬 1 例目

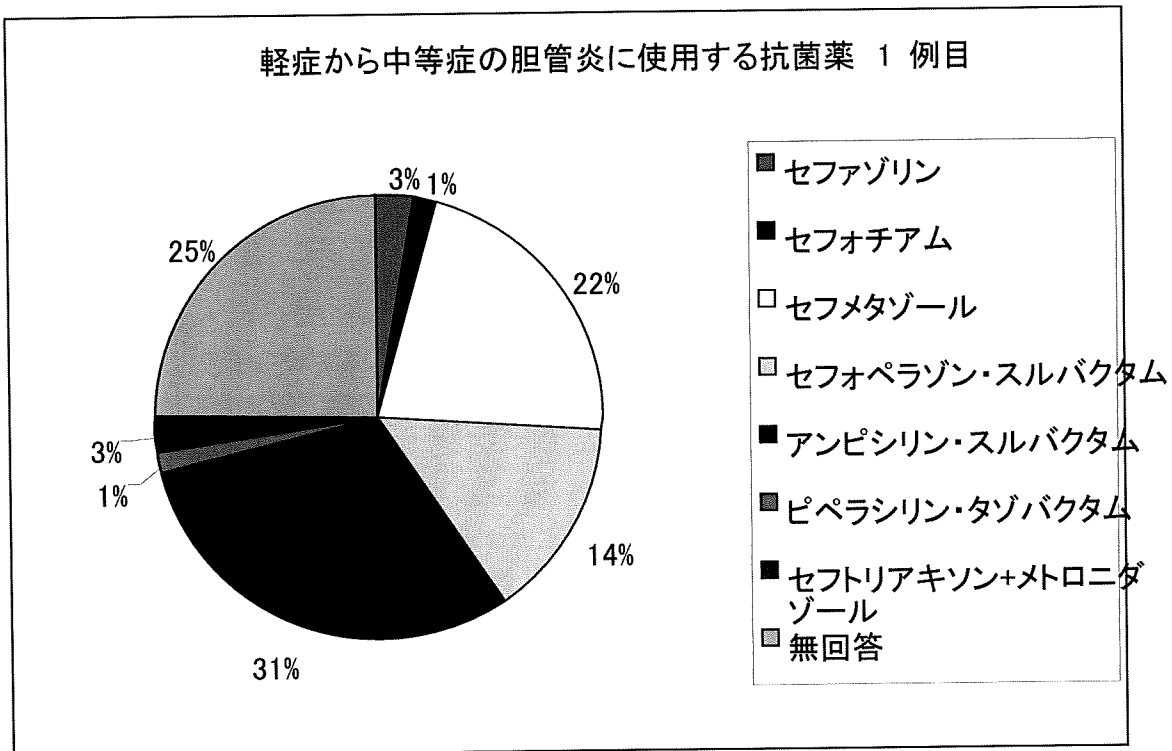


図 14: 軽症から中等症の胆管炎に使用する抗菌薬 2 例目

